

# 6月定例会を 振り返って 会派の意見

## 市民クラブ

西敷地！

市の姿勢まだまだ不透明

近藤強議員は西敷地について質問。中心市街地の活性化や観光振興策の充実に向けて西敷地を有効活用するべきであり、50年に及ぶ借地契約を慎重に審議することは当然と考えていた。

そうした中で、議会にも明らかにしていない事業内容を優先交渉権者が一方的に新聞発表したことは容認できず、猛省を促すとともに市長の見解をただした。

岡崎邦子議員は、セクハラ疑惑への政府の対応や、女性副市長誕生への認識を市長に問う。生活保護制度については、国民のセーフティネットの役割を果たしているか、ケースワーカーの人権は守られているかを問う。また、引きこもり支援の進捗状況や、秦中央保育園改築に関連して北部地域への認識を問うほ

か、中学校のエアコン整備を要望した。

岡崎豊議員は、西敷地の優先交渉権者の収支計画の中で、国の補助金約4億円が具体的に記載されている点を問題視。市長にたまたした上で、妥当性検討委員会における慎重な審議を求めた。また、産業界成に向けた中小企業振興基本条例の制定と、農業生産工程管理（GAP）による農業振興や流通から販売までのルート確立などを求めた。

## 日本共産党

西敷地選定への市長関与を指摘、事業の断念求める。発達障害中

学生に対する被害届提出を告発。個人質問に迫、はた、下元、浜口、下本、岡田の各議員が登壇。◎西敷地の利活用について、事業に加わる高知大と事前協議はしていないと答えた市長が、平成27年7月に学長と情報交換した事実を明るみにした。ニーズ調査で唯一計画ありと回答した団体名をただが、答弁を拒否。代表者が追手前小廃校を決定し、

高知大経営協議会委員を務めた企業が優先交渉権者となるなど、いまだに妥当性が判断できない当事業の断念を求めた。◎発達障害でパニック状態の生徒が、指導中の教員にけがを負わせたとして出した被害届の取り下げを求めたが、当然と強弁。◎30人学級編成のための教員配置を求めた。◎思想・良心の自由を

## 新風クラブ

会派要望「街路整備事業の促進」に向けた補正予算が可決！

わが会派が国および県選出国会議員への要請活動を行っていった重点3街路整備事業について、このたび、国費の交付内示があり、6月定例会で大幅な補正予算を組むことができました。

◆吉永哲也議員の個人質問

長年、会派要望していた人事労務管理のシステム導入について質問。弘瀬総務部長は「新庁舎整備に合わせて導入予定の行政経営基幹業務システムによって、就労管理などにかかる年間事務処理時間が約77%削減できると見込まれる。この削減時間の人役換算で生まれる人員を多忙な部署へ再配置するなどの有効活用を検討すること説明した。

◆和田勝美議員の個人質問

県が進める集落活動センターについて、本市中山間地域および南部地域へのさらなる導入に向けた庁内体制の強化と、その財源に地域振興基金を充てるこ

とを求めた。岡崎市長は「これまでに北七ツ洲地区で開所し、現在、土佐山地区で検討が進んでいる。導入に当たったの課題については、副部長等で組織する地域課題検討会議で今後整理していく」と答えた。

## 公明党

市民の声を市政の真中に！

寺内憲資議員は、子どもたちの育ちの場である福井町の遊び山を管理されている古谷夫妻が、遊び山での活動を評価され、社会貢献支援財団から社会貢献者表彰を受けられたことを紹介した上で、古谷さんからの情報公開請求への上下水道局の職員対応について質問を行いました。

山根堂宏議員は、本年4月にスタートした「れんげいこうち広域都市圏ビジョン」は、県内全市町村と県が連携した全国初の「高知モデル」であり、現在20件登録している連携事業を県内6ブロックで進める体制であるが、成果指標について岡崎市長に概要説明を求めました。

西森美和議員は、秦地域の道路整備の遅れを指摘し、特に秦中央保育園の移転先における慢性的な渋滞の解消は、市北部の交通問題として県と協議するよう要望しました。副市長からは、都市基盤整備・安全対策等が不可欠との認識が示され、新園舎の避難所指定についても協議するとの答弁がありました。

## 新こうち未来

氏原嗣志議員、川村貞夫議員、浜口卓也議員の3氏が登壇し、ともに西敷地の質疑を行った。

氏原議員は、春野地域における長年の懸案事項である小松の沼の残土投棄問題への毅然とした対応を求めた。市長からは、関係部局が連携を図り対応するとの答弁があり、一定の前進が期待されるが、いまだ油断ならない状況にある。川村議員は西敷地の利活用について、日曜市の活性化のため、火を使う店などをこの場所に集め、観光客などの利便性を高めること、よさこい鳴子踊りが世界的に広がっていることから、シンボリックゾーンとして整備することを提言した。浜口議員は特別支援教育の在り方について、年度当初に学校主体の支援会を開催することを求め、本来そのモデル校に位置づけられている高知特別支援学校の専門性をさらに向上させることを提言した。

## みどりの会

近森正久市議

南部振興に市の全面支援を要求。競輪場の雇用確保をする提案を時間外手当5500万円カット。県庁前の駐車場を自走式へ提案。みどりを大事にする市に大転換。イタドリを市の産品として販売。日曜市の出店者増に向けて質問。図書館西敷地の選定過程に異議